



いなほ

稻積神社社報
第12号

平成11年11月1日発行

奉祝

天皇陛下御即位10年



神鷄三兄弟

稻積神社御鎮座四百年奉祝
記念事業に御協力下さい。

社頭所感



宮司 根津泰昇

当神社の日供祭（朝、神様に食事をお供えする神事）の祝詞の中に、高伎尊（タカキミコト）神教（ミコトノシテノモテアマニラミコト）の御天皇（アオヤマタタキナオキタタキ）随爾（アマニラミコトモテアマニラミコト）天皇（タタキナオキタタキ）平正（タタキナオキタタキ）志伎（タタキナオキタタキ）眞心（マニラミコト）以知（タタキナオキタタキ）氏誠（タタキナオキタタキ）乃道（タタキナオキタタキ）爾（タタキナオキタタキ）違布（タタキナオキタタキ）事無久（タタキナオキタタキ）と記述されております。この内容は、神様の尊い教えは、皇室を敬う精神と己の身心を常に純粹で安定させ、人には、思いやり、気くばりする心を養い。正しい信念を抱き、決して横道にそれないよう努力しなさいとの内容であります。

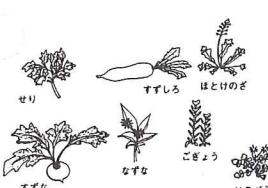
日常生活が、このように実のある営みであるには、毎日神棚を通して稻荷の大神様に祈りを捧げることでしょ。その祈りを、毎日繰り返すことが修業であります。同じことを忘れず行なことは並大抵なことではありません。しかし、知ら

ず知らずに身につき行なっていることが、古来より伝承されている神への「祈り」の風習なのでしょう。

修業を繰り返す事により、日供祝詞の後文に記述されている、負持都（オイモツ）神志（ワザニ）給上家門（タマヒメドクカク）久身健（タマヒメドクカク）世（タマヒメドクカク）乃（タマヒメドクカク）為人（タマヒメドクカク）乃（タマヒメドクカク）為爾（タマヒメドクカク）盡（タマヒメドクカク）左志未（タマヒメドクカク）給閑（タマヒメドクカク）内容は、業務に精神誠意励む事により、家運、商運隆昌で身体健固のご加護をいただき、社会の為に尽くせるような、人格確立のご神徳が授かるのであります。

神社にお参りしましよう

春の七草



正月七日、七草粥を食して祝う行事です。習慣として固定してきたのは江戸時代のことといわれています。

春の七草には、春の七草（はるしちそう）、仏座（ぼくざ）、菘（よのぎ）、蘿蔓（はるな）、御形（ごじょう）、御形（ごじょう）、御形（ごじょう）などがあります。それぞれ薬草効果が認められることがあります。

七草を切りぎざむ時に囃し言葉を唱える風習もあり、無病息災を祈る信仰があります。

世紀末を迎えて、大地震、狂悪犯罪などさまざまな天変地異、事件などが多発しております。私も神職の一員として一人でも多くの人に稻積神社の御神徳を与えられますように努めていく所存です。それはまず自分自身、神道に精励し多くの人々から御指導並びに御鞭撻を仰がなければなりません。神社におきまして私を見かけましたら御気軽に声をかけて下さい。どうぞよろしくお願い致します。

祭典行事歴

(十一月～一月)

毎月

一日月

三日月

十五日神恩感謝祭

古神札焚上げ祭

次始祭

十一月七五三祈願祭

新嘗祭

十七日～十八日伊勢神宮祭

新穀感謝祭

十二月古神札焼納祭

三十一日大祓式

一月一日歲旦祭

二月新年祈願祭

八日針供養祭

初午受験合格祈願祭

女 32 歳 19 歳 37 歳	男 41 歳 42 歳 61 歳	女 男		前 厄 大 厄 後 厄
		S 四十五年生	S 四十三年生	
		年	年	年

数え年とは、満年令に誕生日日前には二歳、誕生日後には一歳を加えた年です。

平成十二年厄年表

(数え年)



権祢宜 河野泰山

職員紹介

平成十二年度

祈願提灯奉納のすすめ

古来より清浄なる火に神宿ると言われております。この故事にちなみ、当神社では、ちょうどちんに住所、氏名、家内安全、商売繁昌祈願のどちらかを書き入れ御神前に掲げ一年の御繁栄、御幸福と共に社頭の殷賑を図っております。

宏大無辺なる稻荷の神様の御加護を戴く日々をお過ごしになるよう「祈願提灯」の奉納をお勧め致します。

祈願提灯初穂料

一灯 一年間 五千円以上


祝祭日には
国旗を上げましょう!!

神社社務所でも頒布しております。

国旗セット

(国旗、竿、金色冠頭、取付金具、収納袋付)
頒布価格 一、五〇〇円

お詫び

「いなほ」第一号の平成十年度正ノ木例大祭奉納者御芳名簿に記載漏れがありましたので、左記の通り訂正の上お詫び申し上げます。

記
金五千円也 金精軒様

稻積神社甲府伊勢講千社参りの旅

あしあと

総代 小尾 武

「納沙布岬から眺める北方領土、ひがし北海道二泊三日の旅」十月三日前四時太田町公園交番前に集合、小雨の降る中バス四台にて出発しました。羽田空港までの二時間余りの車中は雨が降ったり止んだりの天気でした。羽田空港をAM7時55分に離陸し鉄路空港にAM9時30分無事着陸少し風が吹いておりましたが気温は十四度位で気持ちの良い秋晴れでした。バスに乗り変え丹頂鶴公園を散策した後鉄路湿原展望台に行き午後四時頃根室金比羅神社にて正式参拝をしそれぞれ神様に祈願しました。神社は海に近く風もあり大分寒さを感じ急いでバスに戻り一泊目のホテルに向い朝早くからの旅でしたので夜九時頃には床に就いた人も多かったです。二日目ホテルを八時出発納沙布岬から遠く北方領土がはるか遠くうつすらと見る事が出来ました。一日も早く日本に

返還される事を願っております。歌で良く知られている摩周湖展望台に到着何度か訪れた人がこんなに摩周湖が美しい霧もなく澄んで見えたのは初めてだと言いながらその素晴らしさに感動しました。

次の観光地阿寒湖で遊覧船に乗りマリモ展示観察センターを見学二日目の宿阿寒グランドホテル鶴雅に到着ホテルの周りの土産品店はアイヌの木彫店が多く見受けられました。先ず一日の疲れを癒す為お風呂に行く事にしました。低温風呂、高温風呂、サウナ風呂、露天風呂と至れり尽せり本當に一日の疲れを取る事が出来ました。夜七時より宴会おいしい料理とお酒に酔いながらカラオケを歌ったりお話ししたり皆様それ最後の夜を楽しんでおりました。朝食はバイキング生演奏を聞きながらの食事快な気分でした。阿寒温泉を後に網走監獄博物館に到着ガイドさんの説明に

よると明治時代に造られたのは網走刑務所の囚人と本土より八千人の囚人を送り込んで道路を造ったそうです。きつい労働の為多くの囚人が死んでいた様です。博物館を見学説明を聞くと昔は監獄と言う所は恐ろしい所だったなーと思いつら人達にも一度網走監獄博物館を見てもらいたいと思いました。AM11時30分~PM1時まで昼食と最後の買物と言ふ事で私も買物をまとめて航空便で送り女満別空港へと向い羽田空港にPM5時無事着陸甲府にPM7時30分頃帰つてきました。三日間の旅を振り返つて見ますと、晴天に恵まれ多くの稻積神社を崇敬する人に出会え五十年から続いている伝統ある稻積神社甲府伊勢講を支えて下さっている方達に敬意を申し上げます。終りに「稻積神社甲府伊勢講千社参りの旅」の益々の御发展と御参集下さいました皆様方の御健康を祈念します。来年は「みちのくの紅葉を求める盛岡、秋田の旅」楽しみにして

婦人部研修会について

敬神婦人会 岸本和子

敬神婦人会では親睦を兼ねて、七月十日参集殿において牛乳の空パックを利用した椅子作りを行いました。当日はよく晴れて気温も上昇、甲府では最高気温が三三、五度と

今年一番の暑さ!!その中を会員二十五名が集まり、午後一時半から四時半まで賑やかに手作りに挑戦しました。

講師は会員の保坂さんと中山さん。布地などの材料は婦人会で用意し、牛乳空パックを各自二十七個以上持参して

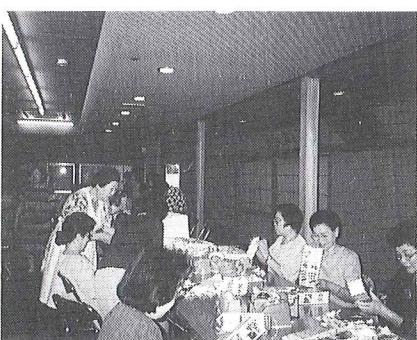
作業開始。所狭しと積まれたパックを切ったり、布テープで巻いてからキルト布を縫い合わせたりと、額に汗をじきました。三日間の旅を振り返つて見ますと、晴天に恵まれ多くの稻積神社を崇敬する人に出会え五十年から続いている伝統ある稻積神社甲府伊勢講を支えて下さっている方達に敬意を申し上げます。終りに「稻積神社甲府伊勢講千社参りの旅」の益々の御发展と御参集下さいました皆様方の御健康を祈念します。来年は「みちのくの紅葉を求める盛岡、秋田の旅」楽しみにして

らこそ、こうしたりサイクリの必要性を感じた一日でした。

只今敬神婦人会(横森満州子会長)は会員数五十三名。

一番大きな会として、正の木祭には多くの会員のご協力を頂き、共に人ととの和を育て学んでいます。年に数回の総会には出席した会員でお茶を飲みながら懇談。又旅行や忘年会など楽しい行事もありますので、多数の方々の御出席を頂きますようお願い致します。尚新しい企画がございましたらお申し出下さいますように。各崇敬者の皆様が神さまのご加護をいただき、健康で増え御活躍あられます

いましたらお申し出下さいますように。各崇敬者の皆様が神さまのご加護をいただき、健康で増え御活躍あられます」と言つていました。家庭科の授業を受けた頃の懐かしさが甦りました。尚新しい企画がございましたらお申し出下さいますように。各崇敬者の皆様が神さまのご加護をいただき、健康で増え御活躍あられます



第三十七回

全国氏子青年協議会

福井大会に参加して

崇敬青年会 会長 樋川 久

去る七月十八日十九日、福井県敦賀市「つるがきらめきみなど博」会場内にて「海から歴史と文化—氏青の心未だ大会テーマのもと、我ら稲積神社崇敬青年会八名が参加しました。

敦賀市民文化センターでの定期大会、総会、アトラクション（福井県無形民俗文化財「雲浜獅子・三匹の獅子舞」）の後、敦賀港開港百年記念会場「みなど博21」の展示を見学（雨天）し、2万6千屯の豪華客船ばしふいづくびいなす号に乗船した。ウエルカムカクテルパーティ、ディナーレセ

ーションと楽しい時を過ごし一日目を無事終了、船中一泊。二日目は、船中朝食、クルージング（湾内約一時間）後下船、八人乗りワゴン車に再び乗り、敦賀氣比神宮に参拝しました。

（問い合わせ申し込みは神社社務所までお願いします）

崇敬青年会々員募集中

北陸自動車道～名神高速道～中央自動車道を無事走り通し、夕方帰郷しました。

来年は、八月五日六日青森

大会（ねぶた祭り開催日）に行きます。ねぶた祭りに行きた一方、参加をお待ちしております。



全国敬神婦人大会第五十回 大阪大会に出席して

稲積神社敬神婦人会 会長 横森 满州子

残暑の続く九月三日から、大阪に敬神婦人会役員四名で出席いたしました。何もかも始めての体験で胸を踊らせながらの出発でした。ホテルニューオータニの会場は全国からの婦人会員であふれて居り受付では全国北海道から九州まで、十地区に別れ、当番県の大坂の会員の方々は、明るくハキハキしており、親切で親近感が持てました。二時から大会が始まり、当初の予定より出席者が倍の千五百人近くになりました。始めに東園佐和子会長式辞があり、続いて東園基

命継ぐ食もの衣もの住むいへも
稲荷の神の恵みなりけり

稲積神社

甲府市太田町公園内鎮座
電話 (055) 233-5573
FAX (055) 226-0787



敬神婦人会へ出席できた事は、前宮司も目を細めて喜んでくださっていると思います。
現在当神社の会員は五十三名です。私達会員が一つに成り、これから当神社の祭り事その他に努力を重ねていく覚悟です。

○少しでも、崇敬者の皆様方に親しんでいただける紙面作りが出来ればと思い、皆様のご質問等にお答えをするコラムを企画しております。どんな些細なご質問でも結構です神社までお寄せ下さい。

編集後記

●誕生 神鷄三兄弟
八月一日、待望の雛が孵りました。（表紙写真）
●雅楽会員募集中
稽古日 毎週水曜日
午後五時から八時まで
神社参集殿

悟です。今回全国大会に始めて出席して、山梨県の婦人会組織作りが非常に遅れていると感じました。一社でも多くの婦人会結成を目指し、婦人会の多くの方々と語り合い人間形成の輪を深めていきたいと思います。